

令和6年度 指定管理者モニタリング票

所管課名 文化スポーツ観光交流部 文化振興課
電話番号 0835(25)2551

1 施設の概要

施設名称	山頭火ふるさと館
設置目的	郷土出身の俳人種田山頭火を顕彰するとともに、種田山頭火及び関連する人物に関する資料の収集、保管及び展示を行い、その調査及び研究に資し、もって市民の教養、文化の向上及び地域の振興に寄与するため、山頭火ふるさと館を設置する。

2 指定管理者の概要

指定管理者	名称	一般社団法人 防府観光コンベンション協会
	代表者	会長 中谷 泰
	所在地	防府市松崎町11番19号
指定期間		令和3年4月1日 ～ 令和8年3月31日（5年間）
選定方法		公募
(非公募の理由)		
利用料金制の有無		無

3 指定管理業務の運営状況

業務内容 (具体的に)	(1) 資料の収集、保管及び展示に関すること (2) 資料に関する調査及び研究に関すること (3) 地元の文化人等の顕彰に関すること (4) ふるさと館の施設の使用に関すること (5) 交流室の使用の許可に関すること (6) ふるさと館の施設等の維持管理に関すること					
組織体制	館長 1 人、館長代理 1 人、係員 4 人 合計 6 人					
労務環境	雇用や労働条件等については、労働関係法令が順守されている。					
利用状況	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	
①来館者数（単位：人）						
	目 標 値	50,000	50,000	50,000	50,000	—
	実 績 値	21,163	21,365	26,708	24,607	—
	分 析	前年より減少したものの、イベントの開催等により開館以来2番目に多い来館者数となった。				
②						
	目 標 値					
	実 績 値					
	分 析					

4 指定管理者の業務に係る収支状況

①指定管理業務に係る収支

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
指 定 管 理 料	29,600,000	29,600,000	29,600,000	29,600,000	—
利 用 料 金	0	0	0	0	—
そ の 他 (内 訳)	60,540	3,604,027	10,888	58,235	—
収入計(a)	29,660,540	33,204,027	29,610,888	29,658,235	—
人 件 費	12,562,090	12,693,068	12,904,902	12,825,927	—
光 熱 水 費	2,852,306	3,897,240	3,460,044	3,960,355	—
修 繕 費	410,351	393,580	308,000	750,970	—
そ の 他 (内 訳)	11,998,136	15,606,737	11,554,972	12,522,951	—
					—
					—
					—
支出計(b)	27,822,883	32,590,625	28,227,918	30,060,203	—
収支(a-b)	1,837,657	613,402	1,382,970	-401,968	—
分 析	物価高騰の影響を受け、単年度収支は赤字となった。				

②自主事業に係る収支

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度
収入計(c)	932,251	1,034,083	1,154,727	1,251,469	—
支出計(d)	581,491	617,814	794,118	1,150,536	—
収支(c-d)	350,760	416,269	360,609	100,933	—
主な内容	ミュージアムショップの運営				

5 利用者満足度

調査概要	実施方法	観覧者にアンケート用紙を配布。アンケートボックスを設置。
	時期	令和6年4月～令和7年3月
	回収率	0.93%
	満足度の割合	常設展：99%、企画展：97%
対応状況		意見・要望について職員間で共有し、それらをもとに積極的に改善に取り組んでいる。

6 評価

指定管理者による自己評価	平成29年10月の開館から7年が経過した。R6年度の入館者数は24,607人で、開館以来の入館者の合計が16万人余りとなっている。自由律俳句や山頭火に対するファン層が着実に広がってきており、ふるさと館への来館者は全国各地から訪れている。また、年に三度の企画展を始めその関連イベント、教育普及活動、交流活動や広報活動等の積極的な展開によって本館の知名度も高まってきていると受け止めている。観光客を対象としたちょっぴりプレゼント企画はとても好評であり、県外からも多くの来館者をお迎えすることができた。さらに、自主事業として取り組んでいるミュージアムショップにも新しく開発した商品(山頭火ファイル、マグネット)を取り入れて、売上も8.3%とアップになっている。今後も格調ある文学館としての企画・運営にさらに創意工夫を凝らし、来館者のニーズに応じた取組を展開していきたい。
市の評価	数々のイベント開催やまちの駅と連携した企画の実施、積極的な広報活動等を行い、入館者の増加に努めている。 自主事業についても、ミュージアムショップの売上は年々増加し、収支も黒字となっており経営努力の成果が認められる。 引き続き、施設来館者数の増加に向けた事業展開を期待する。